



もり

まち

森林を活かす 都市の木造化推進法

盛山 正仁 鈴木 憲和 / 著

脱炭素社会を実現するための建築物の木造化の推進

建築分野のカーボンニュートラルの
推進のため施策への理解!!

公共建築物・民間建築物を含めた施策と
我が国における2050年までの脱炭素社会の実現へ向けての理解

はじめに(抜粋)

この法改正で私が実現したいと考えたことは、2050年カーボンニュートラルという目標に向けて、建築の分野でどのように脱炭素社会の実現に貢献できるかでした。製造の過程で大量の温室効果ガスを排出する鉄やコンクリートを空気中のCO₂を固定化した木材に換えることで貢献できるのではないかと考え、それを具体化するために、二つの方針を打ち出そうと考えました。

一つは、公共建築物に限定された建築物を対象とするのではなく、民間の建物全体を含めて対象を大きく広げることです。都市の木造化法案では、義務付けを強制することが出来ない民間建築物について誘導する施策を設けることとして、全ての建築物に対象を拡大する法律に変更致しました。

二つ目は、それを広く国民の皆様にご理解して頂くために法律の題名を「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」として「脱炭素」を前面に出しました。

木造建築の進展、我が国の林業及び木材産業、気候変動を巡る状況、森林を活かす都市の木造化推進法の解説に加えて、有識者の皆様方による二つの座談会を掲載して、わかりやすく記載したつもりです。多くの皆様方に「なぜこの時期に都市の木造化を進めなければならないのか」について、ご理解を深めて頂くことができれば幸甚に存じます。

● A5判 ● 並製 ● 定価4,180円(本体3,800円+税10%) ● 図書コード3466

●目次(抜粋)●

- 推薦の言葉 ○金子原二郎(農林水産大臣) ○金子恭之(総務大臣) ○末松信介(文部科学大臣)
 ○萩生田光一(経済産業大臣) ○齊藤鉄夫(国土交通大臣) ○山口 壯(環境大臣)
 ○吉野正芳(森林を活かす都市の木造化推進議員連盟会長)

第1章 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律

第2章 木造建築の進展

第3章 我が国の林業及び木材産業

第4章 気候変動を巡る状況

第5章 森林を活かす都市の木造化推進法

第6章 座談会1 「森林を活かす都市の木造化を目指して」

- 金子恭之(総務大臣) ○木村一義(一社)日本木造耐火建築協会会長
 ○熊谷匡史(株)日本政策投資銀行常務執行役員 ○越海興一(一社)日本木造住宅産業協会専務理事
 ○津元頼光(一社)日本治山治水協会専務理事 ○中崎和久(全国森林組合連合会会長)
 ○本郷浩二(一社)全国木材組合連合会副会長 ○前田直登(一社)日本林業協会会長
 ○吉野正芳(森林を活かす都市の木造化推進議員連盟会長)
 ○和田正光(一社)JBN・全国工務店協会筆頭副会長

座談会2 「森林を活かす都市の木造化の課題」

- 伊藤明子(消費者庁長官)
 ○隅 修三(ウッド・チェンジ協議会会長)
 ○森本英香(早稲田大学法学部教授)
 ○盛山正仁(森林を活かす都市の木造化推進議員連盟法案検討ワーキングチーム座長代理)
 ○鈴木憲和(森林を活かす都市の木造化推進議員連盟法案検討ワーキングチーム事務局長)

●参考資料 (主要事項年表、法令、国会付帯決議等、用語の解説、座談会メンバー等略歴)ほか



<https://www.taisei-shuppan.co.jp/> ホームページでもご注文いただけます。
 本社/〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11 TEL.03(3321)4131 FAX.03(3325)1888

VS.22.06

(キリトリ線)

注文 年 月 日

送
本
先

注
文
書

図書コード	書 名	定 価	数 量
3466	森林を活かす都市の木造化推進法	4,180円(税込)	
合 計		円	部

送料は実費となります。

〒 - 所在地

フリガナ

団体・会社名

部課名

担当者名

TEL
印 FAX

-
-

E-mail

購読区分
公用・私用

*ご記入いただいたお客様の個人情報は、ご注文いただいた書籍の配送、ご請求等の連絡およびダイレクトメールのお届け等の弊社の営業活動に限って利用し、その目的以外での利用はいたしません。